

会告

■先端芸術音楽創作学会運営体制

運営委員

事務局

会長：小坂直敏 (東京電機大)
副会長：高岡明 (玉川大), 古川 聖 (東京芸大)
研究会担当：塩田和明 (尚美学園大)
会員担当：寺澤洋子 (筑波大)
広報 (Web)：根本翔多 (東京電機大)
会計：森成功 (東京芸大)
会報：安藤大地 (首都大)

一般

石井紘美 (英国シティ大学), 今井慎太郎 (国立音大),
小林良穂 (慶応大), 寺澤洋子 (筑波大学),
中村滋延 (九州大), 西野裕樹 (シンガポール国立大学),
沼田雄司 (桐朋学園大学), 深山 寛 (東京大),
水野みか子 (名古屋市立大),
Cathy Cox (玉川大),
Michael Chinen (米国ダートマス大学)

在外国メンバー

Mara Helmuth (University of Cincinnati, U.S.A.),
Karen Wissel (Growth in Motion, Inc., U.S.A.),
Mark Battier (Sorbonne, France)

■電子ジャーナルへの投稿を歓迎します

原稿は原稿執筆要領に沿って書いていただき、編集委員まで送付して下さい。また、詳細については編集委員までお問い合わせ下さい。

編集委員：安藤大地 dandou[at]sd.tmu.ac.jp

原稿は以下のカテゴリに分類されます。

- **原著論文** 研究論文。査読を経て採録されたものが掲載されます。
- **研究報告** 研究の予稿。査読はなし。通常の学会の研究会の予稿に相当。
- **会議報告** 国際会議等の参加報告。
- **解説** 既に知られている重要な技術、概念、研究動向を読者にわかりやすく伝える記事。
- **連載** 何回か継続して綴られる原稿。解説や報告などさまざまな区分が個々の原稿にはあるが、全体を連載として区分する。
- **インタビュー** 作曲家、音楽家へのインタビュー。
- **書評** 読者へ紹介したい単行本の感想、評論など。
- **報告** 自身のあるいは研究室の活動報告など。
- **作品解説** 自作品の哲学、用いているシステム紹介、音楽理論などを作品の中で特筆すべき内容を解説する。プログラムノートを発展させ、より学術的にしたもの。

このほかのカテゴリも必要に応じ、作成したいと考えています。上記に当てはまらないものは編集委員にご相談下さい。

■第7回研究会

日時：2010年12月18日(土) 15:00 - 19:00

会場：東京電機大学神田キャンパス

お茶の水アネックス 4階会議室

プログラム

○1件目

講演タイトル：ACMP(アジアコンピュータ音楽プロジェクト)の構想

発表者：小坂 直敏 (東京電機大学)

○2件目

講演タイトル：1970年大阪万博のシュトックハウゼンー西ドイツ館スナップショットー

発表者：柳田 益造 (同志社大学)

○3件目

講演タイトル：1970年大阪万博のシュトックハウゼンー音楽における空間性理念の側面からー

発表者：水野 みか子 (名古屋市立大学)

○4件目

講演タイトル：3次元非接触型パフォーマンス・インターフェースの開発と音楽作品への応用

発表者：美山 千香士 (ニューヨーク州立大学バッファロー校)

編集後記

今回の会報は、第7回研究会の目玉でもある1970年の大阪万博における現代音楽の様々な話題を中心としたものとなっています。

私などは「万博」と言えばつくば万博の世代なのですが、自分が生まれる前に日本で起きた電子音楽の大きなムーブメントの一つである大阪万博について、実際にどのような運用、プログラムで行われていたかを知ることができる非常に重要で貴重な資料となっています。

また、今回は非接触型の音楽パフォーマンスツールの開発を行っている美山千香士さんの興味深い発表もあります。

今後も先端芸術音楽創作学会をよろしく願っています。(会報編集担当:安藤)